



一般社団法人 交通工学研究会

## 第2回 JSTEシンポジウム(札幌)

JSTEシンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会の講習会やセミナー、ミニシンポジウム、開催地およびスポンサー企業の企画を併せ持ち、一度に様々な体験が可能な、いわば交通工学のショーケース的な位置づけのイベントです。毎年12月頃に全国各地で巡回開催する計画となっており、昨年度は福岡にて第1回シンポジウムを開催しました。第2回となる今回は札幌にて開催します。本シンポジウムは、交通工学に関わる最新の技術動向について情報を得ることができ、交通工学に携わる技術者や行政担当者のネットワークを拡げる絶好の機会です。研究者のみならず、実務に携わる方々の参加を特に歓迎します。お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

# 令和の新しい目玉イベント 交通工学に関する最新技術・情報のショーケース

- ・ 交通工学研究会の各種委員会、開催地、スポンサー企業の企画セッションが一堂に集結!
- ・ 講習会、セミナー、シンポジウム等のイベントを一度に体験できます!
- ・ 業務でお悩みのことはありませんか? 交通工学の専門家・技術者と直接話をするのできるチャンスです。
- ・ 交通工学研究会発行の各種出版物のオンサイト販売も行います。

<p><b>委員会・研究グループセッション</b></p>	<p>「平面交差の計画と設計 基礎編」の課題、徹底討議!</p>	<p>二段階横断施設の導入指針とわが国での普及に向けた課題・解決策</p>	<p>受託研究・共同研究がつくる交通工学研究会の「研究力」</p>	<p>「つかう時代」において道路の計画設計が目指すべきもの</p>	<p>さあ、雪国でもはじめよう! 生活道路対策におけるテバイスの使い方</p>
<p>日本のラウンドアバウト最前線～導入事例の経緯と特徴～</p>	<p>交通事故リスクを活用した交通マネジメント</p>	<p>自転車通行環境の良し悪しは「交差点」で決まる 2020</p>	<p>交通工学研究会は道路交通分野の技術者を、どうバックアップしようとしているのか?</p>	<p>生活道路対策における道路安全診断とETC2.0プローブデータの試行運用</p>	<p><b>JSTEシンポジウム運営小委員会企画セッション</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による道路交通への影響</p>
<p><b>地元企業・団体スポンサードセッション</b></p>	<p>北海道における次世代モビリティのあり方① (株)ドーコン</p>	<p>北海道における次世代モビリティのあり方② (一社)北海道開発技術センター</p>	<p><b>スポンサードセッション</b></p> <p>会社紹介特設ブース ※セッション会場とは別会場で常時開設</p>	<p>高速道路の幾何構造 -黎明期から自動運転の時代へ- 飯片平新日本技研</p>	<p>複合都市再生事業における工事中交通マネジメントのあり方 福山コンサルタント</p>
<p>建設コンサルタントから見た将来の地球交通のあり方 提言 日本工営</p>	<p>交通問題解決に向けた画像解析の現状と今後の展開 (株)道路計画</p>	<p>転換期を迎えた地域交通の今後を考える (株)建設技術研究所</p>	<p>活用段階に入った人流データ、センシングデータの活用 (株)パシフィックコンサルタンツ</p>	<p>地方部のスマートシティ化とモビリティ (株)長大</p>	<p>自動運転の社会実装を踏まえた今後の課題と留意点 Part2 飯片平新日本技研</p>

- 日時: 令和2年12月3日(木)～4日(金)
- 会場: 札幌市教育文化会館 オンライン(zoom)開催
- 主催: 一般社団法人 交通工学研究会
- 後援: 警察庁、一般社団法人 建設コンサルタント協会、(予定) 国土交通省

●スポンサー

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	交通インフラ総合コンサルタント 株式会社 片平新日本技研 KATAHIRA & ENGINEERS INC.	CTI 株式会社 建設技術研究所	首都高速道路株式会社 www.shutoke.jp
株式会社 長大	総合建設コンサルタント 株式会社 ドーコン	株式会社 道路計画 未来をみにつく、未来を創る Mobility Innovation	NIPPON KOEI
Pacific Consultants	株式会社 福山コンサルタント FUKUYAMA CONSULTANTS CO., LTD.	dec	yeo 八千代エンジニアリング株式会社

■参加費：当会 正会員9,900円、特別会員12,100円、非会員15,400円(消費税含む)、学生無料  
※学生証提示

■プログラム ※プログラムは変更する場合があります。  
詳細は、交通工学研究会のウェブサイトをご参照ください。

スポンサーセッション 地元企業・団体スポンサーセッション 委員会・研究グループセッション JSTEシンポジウム運営小委員会企画セッション

<b>&lt;第1日目&gt; 12月3日(木) ※11:00受付開始</b>			
<b>全体セッション &lt;会場 1F小ホール&gt;</b>			
12:00 ~ 13:30	12:00-12:10 会長挨拶 (交通工学研究会会長・千葉工業大学教授 赤羽弘和) 12:10-12:40 交通工学研究会の活動紹介 (研究委員長 野中康弘) 12:40-13:30 座談会「新しい生活様式と交通工学、そしてJSTE」(オーガナイザー：辰巳 浩・福岡大学) 朝倉康夫(前・交通工学研究会会長、東京工業大学教授) 橋本 幸(国土交通省北海道開発局 建設部長) 鈴木達也(日本工営(株) 交通運輸事業本部交通都市部 次長)		
休憩			
会場	【第1会場】4F講堂	【第2会場】4F研修室403	【第3会場】3F研修室305
13:45 ~ 15:25	A-1 (株)ドーコン 「北海道における次世代モビリティのあり方①～自動運転時代を見据えた生産空間での次世代モビリティの方向性～」 有村幹治・室蘭工業大学	A-2 平面交差の計画・設計・制御の研究 「『平面交差の計画と設計 基礎編』の課題、徹底討議！」 大口敬・東京大学	A-3 (株)片平新日本技研 「高速道路の幾何構造 一黎明期から自動運転の時代へ」 眞行寺暢彦、伊藤亜生、松本猛秀・(株)片平新日本技研
休憩			
15:40 ~ 17:20	B-1 (一社)北海道開発技術センター 「北海道における次世代モビリティのあり方②～北海道型MaaSの方向性～」 大井元揮・(一社)北海道開発技術センター	B-2 自主研究・二段階横断施設の適用性に関する研究 「二段階横断施設の導入指針とわが国での普及に向けた課題・解決策」 鈴木弘司・名古屋工業大学	B-3 (株)福山コンサルタント 「複合都市再生事業における工事中交通マネジメントのあり方」 淡川剛史・(株)福山コンサルタント
休憩			
17:30 ~ 19:10	C-1 JSTEシンポジウム運営小委員会 「新型コロナウイルス感染症対策による道路交通への影響」 佐野可寸志・長岡技術科学大学	C-2 研究企画小委員会 「受託研究・共同研究がつくる交通工学研究会の“研究力”」 小根山裕之・東京都立大学	C-3 道路の交通容量とサービスの質に関する研究 「『つかう時代』において道路の計画設計が目指すべきもの」 下川澄雄・日本大学
<b>&lt;第2日目&gt; 12月4日(金) ※9:00受付開始</b>			
9:30 ~ 11:10	D-1 日本工営(株) 「建設コンサルタントから見た将来の地域交通のあり方提言」 木下将・日本工営(株)	D-2 生活道路に関する検討小委員会 「さあ、雪国でもはじめよう！生活道路対策におけるデバイスの使い方」 寺内義典・国士舘大学	D-3 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 「日本のラウンドアバウト最前線～導入事例の経緯と特徴～」 中村英樹・名古屋大学
休憩			
11:20 ~ 13:00	E-1 (株)道路計画 「交通問題解決に向けた画像解析の現状と今後の展開」 深井靖史・(株)道路計画	E-2 交通事故リスクを活用した交通マネジメントに関する研究グループ 「交通事故リスクを活用した交通マネジメント」 吉井稔雄・愛媛大学	E-3 自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会 「自転車通行環境の良し悪しは“交差点”で決まる2020」 大脇鉄也・(株)建設技術研究所
昼食休憩			
14:00 ~ 15:40	F-1 (株)建設技術研究所 「転換期を迎えた地域交通の今後を考える～地域が抱える課題とその処方箋について～」 小澤俊博・(株)建設技術研究所、岸邦宏・北海道大学	F-2 【合同企画】資格委員会・交通技術研究小委員会・交通工学ハンドブック改訂小委員会 「交通工学研究会は道路交通分野の技術者を、どうバックアップしようとしているのか？」 大口敬・東京大学、岡田良之・(株)長大	F-3 パシフィックコンサルタンツ(株) 「活用段階に入った人流データ、センシングデータの『いま』」 上泉俊雄・パシフィックコンサルタンツ(株)
休憩			
15:50 ~ 17:30	G-1 (株)長大 「地方部のスマートシティ化とモビリティ」 内海泰輔・(株)長大	G-2 道路安全診断 自主研究委員会 「生活道路対策における道路安全診断とETC2.0プローブデータの試行適用」 赤羽弘和・千葉工業大学	G-3 (株)オリエンタルコンサルタンツ 「自動運転の社会実装を踏まえた今後の課題と留意点Part2」 神戸信人・(株)オリエンタルコンサルタンツ、塩見康博・立命館大学

■申込み方法

申込みは、交通工学研究会ウェブサイトのイベント情報 (<http://www.jste.or.jp/Event/index.html>) 「第2回JSTEシンポジウム(札幌)」の参加申込リンクからの事前申込をお願いします。

プログラム・開催方法の詳細やキャンセル、悪天候時の対応、その他注意事項などについては、今後交通工学研究会のウェブサイトにて、情報を随時更新して参りますのでご参照ください。

■新型コロナウイルス感染症対策

本シンポジウムは新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮した上で実施いたします。参加の皆様にはご不便をおかけすることと存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、対策についての詳細は当会ウェブページにてご確認ください。



お問合せ： 一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23

<http://www.jste.or.jp/>

Tel. 050-5507-7153 Fax: 03-6410-8718